

# VOICE

2016~2017

一般社団法人 飯塚青年会議所

TEL 0948-23-0292



**2016年度  
理事長総括  
2016年度  
活動報告**

**2017年度  
理事長所信  
2017年度  
会員紹介**

! URL <http://www.iizuka-jc.com/>

! Facebook <http://www.facebook.com/iizukajc>

一般社団法人 飯塚青年会議所  
THE VOICE



## ～一年間を振り返って～

一般社団法人飯塚青年会議所 塚本 大  
第63代理事長

2016年は「未来へ」～一生懸命楽しむひとづくり・まちづくり～のスローガンのもと一年間メンバー一丸となって邁進してまいりました。私の想いは市民意識変革、市民運動の先頭に立つという意味をメンバーみんなで改めて議論し、本当に地域の未来のために、私たちの子ども達のために何ができるだろうか、今何をすべきだろうかという青年会議所活動の純粋な形をもう一度追い求めることでした。

我々だけが満足するような活動ではいけない、我々自身もワクワクとするような活動でなければならない。その想いのもと、このまちに住む人自身が本当にこのまちに暮らして良かった、育てて良かった、働いて良かったという想いを増やすという地域創生を目指し、まち、ひと、しごとの視点からまちづくりを行いました。飯塚市商店街連合会との共催で行ったスポーツゴミ拾い事業、JA青壮年部、女性部の方との協同で行った地域の子どもたちとの一日食堂の开店事業、JAまつりでの弁当作り・販売事業、飯塚第二中学校の全面協力を得て行った夢を拡げる企業説明会・講演、次世代リーダー育成プロジェクト事業、どれも本当に地域の未来を考えた、地域に残るような事業となりました。

そして、特別活動として行政の方々との関わりを深める中で、飯塚市、嘉麻市、桂川町共同での空き家対策事業を行い、地域各団体との連携強化を図りました。また、飯塚山笠、灯明祭への支援も継続的に行い、台東JCへも総勢25名で友好訪問し長年続く友情と絆を深めました。さらに、飯塚国際車いすテニス大会に続く、この地域二つ目の国際大会となる飯塚国際女子テニス大会「ニコニコ飯塚JCカップ2016」を開催しました。規模が大きく、国際大会の主催という青年会議所で前例のないような事業に対し、飯塚青年会議所全体で取り組み、さらなる地域PR、国際交流、交流人口の増大など地域活性の新しい核となる方向性の提案、可能性の拡大を目指したことで、多くの方から継続を望まれるような事業となりました。地域のみなさまにも多くのご協力をいただき、地域との関わりをさらに深めることができた一年でもありました。





**4月** サッカー部九州地区大会



**4月** 野球部福岡ブロック大会



**5月** 福岡ブロック大会 in 大牟田



**7月** 創立記念



**7月** サマーコンファレンス in 横浜



**7月** 九州地区大会 in 鹿屋



**9月** FUKUOKA コンファレンス



**11月** 茶道部飯塚青松会発会



**10月** 全国大会 in 広島



**10月** 全国大会 in 広島

また、メンバー数が100名を超え、県内でも有数のLOMとなった中、もう一度、メンバー同士の関わり合いの増加、成長の機会の創出など対内的なひとづくりを見直すことに想いを込めた一年でもありました。毎月の例会でのメンバーが来なくなる、楽しみにする企画の実施、一般の方向けへの公開例会、メンバーの家族の皆様を招待した家族例会も開催することができました。また、新入会員の拡大と入会メンバーへの成長の機会の提供、アカデミーメンバー主体での地域のこだわりもん企業体験事業の実施、メンバー同士の縦と横の結束をさらに深める会員交流事業についても一年間行ってきました。

2016年の活動はすぐに評価を得られるものではないと思います。しかし、本質的な意味で、なぜ、みんながJC活動をしているのか、なぜ、この地域でそれぞれのリーダーになろうとしているのかを再確認する一年でもあったとも思います。そして、数回にわたる事業の開催、大きな事業の全体での開催とタイトなスケジュールの中、メンバーそれぞれが全力で地域の未来のために活動を行えたことで、JC活動の三信条「友情、修練、奉仕」を次の年へ確実に一歩進めることができた一年であったと確信します。一年間みなさま本当にありがとうございました。



▲表彰式後の記念撮影～行政、他団体の協力のもと大会は大成功に終わった

### 1年のあゆみ

2015年12月

国際テニス申請(ITF)

1月～

情報収集・現地調査・他大会視察

3月

全体説明会(対内)

4月

他団体・関係者との打ち合わせ・依頼開始

5月～7月

協議・協賛企業募集

8月

審議可決

9月～10月

国際女子テニス大会開催

(9月24日～10月2日)

11月 御礼・報告

## ニコニコ飯塚J.Cカップ2016 地域活性特別室

本年度、地域活性特別室では筑豊ハイツ・筑豊緑地のテニスコートを使用し、9月25日～10月2日の間「国際女子テニス大会 \$25000」を飯塚青年会議所の全体事業とし、全メンバー丸となる事で開催する事が出来ました。この大会を開催した事で、国際車いすテニス大会(JAPAN OPEN)にご協力されている方々以外の新たな方々にも参加・ご協力して頂いた事で、この飯塚と特色を知って頂くと共に福岡県内を問わずしてこの地域を発信する事が出来たと確信します。

また、1LOMだけで国際大会を成功させた事は、全国の青年会議所の中でも初めてであるという事からも、飯塚J.Cを含めこの飯塚という地域を広く発信する事が出来たと感じます。これを期に、この地域と我々の活動が益々発展する事を強く願い室長総括といたします。

今回、ご協力頂いた行政・他団体・学生・メンバーの皆様、本当に有難う御座いました。



▲国内外の女子プロテニスプレイヤーを招き筑豊ハイツにて大会開催



▲スポンサー、選手を招いてレセプションパーティーを開催



▲表彰セレモニー



▲たくさんの市民が観戦に訪れる



▲空き家Expo2016～「空き家が空き家と呼ぶ負の連鎖」を学び、行動を起こすきっかけづくりを目指す

### 1年のあゆみ

1月～10月

灯明について実行委員会と協議

1月～11月

台東国際青年商會と訪問について協議

11月～1月

行政との交流会に向けて各所と協議

2月 行政と交流会実施

3月～7月

空き家EXPO2016について委員会内で協議

5月 台東訪問協議

6月 台東訪問審議

7月 空き家EXPO2016協議

8月 空き家EXPO2016審議

9月 審議可決後広報活動

10月 空き家EXPO2016開催

灯明「光の藝術祭」開催

11月 台東訪問

## 空き家EXPO2016 地域交流特別室

私達地域交流特別室では、1年間行政との連携の強化、台東国際青年商會との交流、実行委員会に渡された灯明への協力等をしながら活動してきました。行政との連携強化に関しましては2月に2市1町の行政の方々をお呼びし、交流会を企画しました。その時できた繋がりを基に飯塚J.C.と行政の方々がこの地域にある共通の問題点として、空き家に注目し、空き家が空き家と呼ぶ負の連鎖を止めるべく空き家EXPO2016を開催しました。

台東国際青年商會訪問に関しましては11月の11日12日13日の日程でシニア、現役あわせて22名で訪問いたしました。現地では市長の表敬訪問、理事長交代式、懇親会を通して、これまでの結びつきの強さを確認しつつ、新たな人と人の出会いを作る事ができました。灯明に関しましては実行委員会の人員の確保と予算の確保で苦しみ、当日も天候に恵まれず、小規模での開催となりましたが実行委員会主体の灯明を行うことができました。様々な活動や事業を行ってきましたが、そのどれもが自分1人できたわけではなく、協力してくれた方々、参加してくれた方々、アドバイスをくれた方々がいたから1年間活動できました。協力してくれた全ての方々に本当に感謝し尽くせない思いと共に1年間の総括といたします。



▲メインフォーラム～民間主導のリノベーションによる空き家再活用の成功例を紹介



▲台東訪問～歓迎式典での交流の様子



▲灯明「光の藝術祭」



▲行政との交流会～活発な意見交換を行い連携の可能性を共有した

## 大人の企業訪問!～ひととのつながりの素晴らしさ～

### 飯塚JC杯チャリンコオータムカップ2016 総務会員交流委員会

本年度、総務会員交流委員会では100名を超える会員数のもと、青年会議所における環境に一步踏み出す意識改革を行うと共に、会員相互理解が深まるよりよい交流を図る活動を行ってきました。

まず、ひととのつながりの素晴らしさを感じて頂くため、JR九州とKBC九州朝日放送のJCのOBの方との接点を持ち、JCのスケールメリットを体感し、今後の自己成長に繋がる大人の企業訪問を実施しました。また、地域を代表する施設である飯塚オートレース場にて「チャリンコレース」を開催し、通常では体験することの出来ない環境のもと、会員同士の相互理解が深まるより良い交流事業を行いました。

自分たちでメンバーたちの事を考え企画立案し、ときには大きな壁にぶつかりながらも最後までメンバーの事を想いながら活動してきた結果、より効果的な会員交流が図れたと確信し、これらの経験が未来へと繋がっていくと信じ、私の総括に代えさせていただきます。

大人の企業訪問  
JR九州  
「ななつ星九州」  
誕生秘話講演



▲総会運営



▲飯塚JC杯チャリンコオータムカップ2016～  
飯塚オートレース場にて



▲大人の企業訪問～  
KBCのスタジオで記念撮影

#### 1年のあゆみ

- 1月 1月通常総会
- 2月 協議
- 3月 審議
- 4月 第1回会員交流事業 大人の企業訪問!  
～ひととのつながりの素晴らしさ～
- 6月 6月臨時総会
- 8月 8月臨時総会
- 9月 協議
- 10月 審議
- 11月 11月通常総会  
第2回会員交流事業 飯塚JC杯  
～チャリンコ・オータムカップ2016～

## 笑顔の架け橋～HAND TO HAND～ 笑顔の架け橋～SKY BLUE 未来へ～

### ひとつづくり委員会

2016年度ひとつづくり委員会はこの地域の未来のため、子どもたちに食育を通して1日限定レストランとJAふれあいまつりでのブース出店を行いました。子どもたちに物事を構築していくためには、ひととひとの繋がり的重要性、大切さを体験することで学んでもらいました。また、様々な団体の方々ともふれあうことが出来、JCだけではなく、この地域にある様々な団体とともに事業を構築することで、より大きなことができることを実感できました。



▲新春祝賀会を運営



▲生産者の協力のもと農業体験い、  
食べ物へのありがたみ、農家の方への感謝と繋がりを生み出す



▲飲食店協力の交流会を経て、  
子どもたちが自身の食堂で  
提供する料理を決定



▲JAまつりで販売した特性弁当  
調理・接客すべてを子どもたちが  
行った



▲1年間の活動の集大成として  
JAふれあいまつりにて特性弁当を販売

#### 1年のあゆみ

- 1月 新春祝賀会運営
- 3月～5月 嘉麻学園との打ち合わせ
- 5月～8月 食堂オープンするための準備期間
- 8月28日 1日限定レストランSkyBlueオープン
- 9月～10月  
JAふくおか嘉穂にてJA青壮年部  
JA女性部との打ち合わせ
- 9月～11月  
ふれあいまつり出店のための準備
- 11月19日20日  
「第20回JAふくおか嘉穂 ふれあいまつり」  
にてSkyBlue出店
- 12月14日 報告会



▲スポーツゴミ拾い～他者と協働して輝かせるまちづくりを目指して

## 未来へつなぐ安心まちづくり

### まちづくり委員会

当初、まちづくり委員会として、まちの発展には人が欠かせないものであり、何か普段の生活の中でも自身が変われる機会を得られるような事をやりたいと感じました。そこで、自分さえよければいいといった考えを改善し、協働作業の話聞くことで、今後どのように手を取りあっていくべきなのか、他者と育みあいまちに、人に関心をもってもらうきっかけができればと思い安心安全まちづくり事業を行いました。

また、本年度最後の事業となる忘年会において卒業生7名の功績を称え感謝し、また一年間共に協力しあったJC活動を称え合い次年度に繋げるものとなりました。



▲警察署の講演～小さな思いやりが地域を守る

#### 1年のあゆみ

- 1月～2月 事業構築のため委員会開催
- 3月～5月 事業開催に向けて商店街警察署と意見交換
- 6月 協議・協力団体への説明会
- 7月 審議可決・広報活動
- 8月27日 事業開催
- 9月～11月 忘年会について委員会
- 12月9日 2016年度大忘年会開催



▲スポーツゴミ拾い～他チームと競いながら楽しくゴミ拾い



▲一見きれいにみえるまちにもこんなにゴミが…



▲大忘年会を運営

## 筑豊こだわりもん企業体験展

### 会員拡大アカデミー委員会

会員拡大アカデミー委員会では、ひとりでも多くの仲間を迎えるために会員拡大に取り組むとともに、新入会員が一刻でも早くJCに馴染み、JCにある成長のチャンスを最大限に活かせるよう活動してまいりました。

そのような1年間の新入会員育成の集大成として、アカデミー事業「筑豊こだわりもん企業体験展」を開催しました。

子どもたちに地域企業のこだわりから生まれる魅力を伝え、企業人、家族との協同体験の中で、将来選択のための原体験としていただくことを目指しました。

事業構築段階からアカデミーメンバーの活発な議論を引き出すことに注力し、密接にかかわりを持っていただくことで、主体性をもって事業に臨んでいただくことができました。

アカデミー事業を通して、一つの事業に向けて様々な視点から議論を交わす楽しさ、志を同じくする仲間と一つの目標に向かう喜び、事業達成の感動を体験することで、JCの魅力を実感していただき、アカデミーメンバー一人ひとりがJAYCEEとして成長できたと思います。

1年間たくさんの方々にご協力をいただき、アカデミーメンバーの成長を見守っていただいたからこそその結果であると思います。ご協力いただいた皆様への御礼をもちまして一年間の総括とさせていただきます



▲筑豊こだわりもん企業体験展～カカオ豆からチョコレート作り

#### 1年のあゆみ

- 1月～6月 会員拡大活動に注力する
- 4月～6月 事業構築に向けて委員会活動を重ねる各企業に向けて協力依頼・趣旨説明
- 7月 討議
- 8月 協議
- 9月 審議可決～広報活動
- 10月23日 アカデミー事業「筑豊こだわりもん企業体験展」開催
- 9月～12月 広報誌「VOICE」編集・発行



▲小黒食堂～お弁当作りで学ぶ栄養学



▲コスモスハウス～想いを伝えるラッピング伝統の水引飾りづくりを体験



▲辻養蜂場～ハチの巣からロウソクづくり



▲光和建設～モルタルアートづくりでつむぐ親子の思い出作り体験

# 夢を拡げる企業説明会・夢咲かず講演会 次世代のリーダー育成プロジェクト

## しごとと活力委員会

我々しごとと活力委員会では地方創生の「まち・ひと・しごと」の一端を担い、このまちに住むひとがしごとを本当の意味で理解し、本当の感謝を示すことがこのまちで働いていて良かったと思える事業を展開してまいりました。まずは飯塚第二中学校で企業説明会と講演会を開き何にではなく何で将来その職業に就きたいかを考えよう。それが見つからなかったら自分自身で新しい何でを作り出す事業を行いました。そして第二弾として、これからの仕事の変化について学んでもらい自分たちはこの先どうあるべきなのか、考え話し合う姿を働く現役世代に見ていただきました。さらに親世代・子世代の考えをそれぞれに伝え感謝の気持ちを育み明日へのしごとと活力といたしました。子が親のしごとを理解し感謝を示し、親がこの子のためにと明日へのしごとと活力とすると信じ一年間邁進してまいりました。一年間ありがとうございました。



▲夢を拡げる企業説明会～たくさんの企業を招き仕事の本質を知ってもらうための説明会を開く

### 1年のあゆみ

1月～6月

行政・企業との打ち合わせ、情報収集

5月 協議

6月 審議「夢を拡げる企業説明会」  
「夢咲かず講演会」開催

7月 創立記念

8月～10月

教育委員会・九州工業大学との打ち  
合わせ、情報収集

9月 協議

10月 審議

11月 「次世代のリーダー育成プロジェクト」  
開催



▲「夢を拡げる企業説明会」  
開催にむけて協力企業への  
趣旨説明会を開催



▲夢咲かず講演会



▲創立63周年記念式典を運営



▲次世代のリーダー育成プロジェクト  
グループディスカッションで未来に  
求められるリーダー像を議論

## 例会事業

## 例会委員会

今年度の例会委員会では、年度当初よりメンバーがワクワクして参加して頂けるようなアワー内容を企画しようとメンバー同考えていました。

他委員会の事業が本格化する夏頃までは、ボリューム感のある例会をと考え、場所の選定やアワー内容の選定などを行いました。

中でも6月に行った公開例会『でっかいご縁』では、年当初より企画を入念に練り、メンバーを始め、大変多くの方々にご参加頂き無事に盛大に行うことが出来ましたし、参加者からの反響も大きく、メンバーに対しても大きな益を残すことが出来たと感じています。

年間を通してボリュームの大きな委員会となりましたが、メンバー間の仲も良く楽しく、またやりがいのある1年間を過ごすことが出来ました。

例会委員会のメンバー、また担当して下さった藤原理事長に心より感謝し今年度の総括とさせていただきます。



▲6月公開例会「でっかいご縁」～  
講師に中村文昭氏を迎え、人と人の縁を  
テーマに講演。満員の会場で大盛況に終わる

### 1年のあゆみ

2015年9月頃

年間スケジュール作成

1月 1月例会 『百人一首』

2月 2月合同例会

3月 3月例会 『花咲く例会』

4月 4月例会 『JICオープン』

5月 5月例会 ビジントレーニング

6月 6月例会 『でっかいご縁』

7月 7月例会 『大人の着衣泳』

8月 8月例会 『もしもの時に備えて』

9月 9月例会 『お金の動きを理解する』

10月 10月例会

『大人のボディメンテナンス』

11月 11月例会 『僕らの入成年』



▲5月スポーツ例会～  
筑豊ハイツで委員会対抗テニス



▲8月防災例会～  
熊本地震で被災しながらも  
支援活動に従事された熊本  
JICメンバーより講演



▲2月合同例会～第2エリアの  
LOMが一堂に会し、結束を固めた



▲7月例会・大人の着衣泳～  
水難事故が多発する夏場を  
前に命を守る着衣泳を  
カホスイミングにて体験

# 2016年度 新会員の声

## 小黑 敦

普段では接点を持つことができない地域を牽引している若手経営者の方々との出会いは今後の人生においてかけがえのない財産になると感じています。

また、JC活動での貴重な体験を通じ、自分自身の成長を実感しています。来年は、副委員長という役にも挑戦し、もっと成長していきたいと思ひます。



## 吉浦 俊次

JCに入会させて頂いてから、他業種の方と接する機会をたくさん得ることが出来るようになりました。そして、色々な活動や事業を通して皆さんと議論し、作り上げて行く中で多くの事を勉強させて頂いています。



## 松本 篤

準会員の期間に理事会に参加させていただく機会がありました。その際に、理事会メンバーの熱意が感じられる時間を共有させていただきました。

自ら「動く」ということが、先に「繋がる」ということを感じました。これから先、メンバーと一緒にこのような時間が共有できるように、「動く」ということを念頭に置いていきたいと思ひます。



## 大庭 みほ子

青年会議所といえば、男性が多い団体なので初めは入会するか悩みました。何度も足を運んでくださるメンバーの方々の話を聞いているうちに地域のために女性目線であるかもしれないと思ひ入会しました。女メンバーが少ないこともあり意見を求められることも多くやりがいを感じています。同期のメンバーも男性ばかりですが、委員会を通してとても親しくなり、仕事やプライベートの相談をできるいい仲間ができました。



## 藤春 太輔

一級建築士の試験との両立が難しいと思ひずっと敬遠していましたが、今年が入会できる最後の年だと知り思い切って入会しました。確かに試験との両立は難しかったですが、多くの人との出会いや経験ができ自分自身が成長できたと思ひます。



## 能登 洋晃

入会して感じた事は、メンバー同士本当に仲が良いという事です。社会人になり、このような関係を築けるのは、貴重な事だと思ひます。この活動を通して、人との関わり、事業を創り上げることの難しさを感じ、今後一生がしていきたいと思ひます。



## 松山 羽得

私はJCに入り多数の事業に参加しました。その中でもテニスの大会ニコニコJCカップの裏方の仕事は元々趣味でテニスをしてたのもあって、プロのテニスプレイヤーを陰で支えることができ、思い出になりました。



## 寺井 譽大

貴重な経験ができプロフェッショナルな先輩方に様々な知識を教えて頂けることがJCの魅力と感じております。ですが入会して良かったことはやはり皆さんと出会えたことが一番ではないかなと考えております！



## 大内田 洋

私は飯塚出身でありながら、長い間、飯塚から離れていましたので、飯塚で地元愛を持った仲間に出会えた事は私にとって財産になりました。仕事でもJCの事業を通して、地域に貢献していきたいです。



## 有門 知成

JCを通じてたくさんの方々とお出会うようになり、充実した日々を送れるようになりました。これからは、出会いを大切に地域発展と住み良い街づくりに貢献していきたいと思ひます。





# 2016年度卒業生の声

## 白附 友和



飯塚JCメンバーの大半が会社の代表者、もしくは会社の二代目の方ですが、私は会社の出向でサラリーマンという立場で6年間のJC生活を送りました。最初は、仕事とJC活動の両立は厳しいかと不安になりましたが、新しい仲間と出会い今までの自分の視野の狭さに気づき、たくさんの良い刺激を受けなんとか無事卒業を迎える事ができました。間違いなく人生で一番気づきを得た6年間でした。メンバーのみなさま有難うございました。又、出向させていただいた社長に感謝いたします。有難うございました。

## 武智 貴住



3年に満たない短い期間でありましたが、多くの方と知り合い、親交を深めることができ感謝しております。事業目的を達成する為にメンバーで何日も協議し、行動をすることを自ら体験し、またメンバーのその姿を目にし、大変いい刺激を得られました。また同期のメンバーが理事長などの大役を担うことを楽しみにしております。

## 赤尾 嘉則



私は2012年にJCへ入会し、今年の12月をもって卒業する事となりました。短い期間ではありましたが、JCに在籍していなければ知り合うことなかったであろう友人ができた、地域に対しての奉仕活動及びJC活動を通して、この歳ではなかなか味わえない興奮や感動を再び経験でき、私の人生において、大変有意義で価値ある貴重な時間を過ごさせて頂いたと思います。また今となって思う事は、私自身があと一歩踏み出して活動ができていれば、地域貢献を通して、もっと良い経験ができたのではないかと後悔する事も多くあります。後に続く後輩たちには、私のような後悔をする事が無い様、40歳までの期間限定の今を、人生で一度しかない今を、無理をしなから、精一杯全力で関わり合い、活動して欲しいと思います。4年間、誠にありがとうございました。

## 岡 芳幸



私は赤尾さんと同じ月、同じ日に入会させていただきました。自分はサラリーマンという事で様々な問題がありましたが、会社の理解もあり大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。この活動を通して普段では味わえない体験や達成感を味わうことができました。この活動を通じて思う事はやはり活動をしないと勿体無いと思います。たくさんの友人やたくさんの知識、たくさんの刺激が待っています。是非、この地域や活動を盛り上げてください。そして、たくさんの友人や知識、刺激を持ち帰ってこれからの人生に役立てていきましょう。最後に笑顔で送り出して頂きました会社の社長や家族に。。。ありがとうございました。

## 豊永 次郎



JC活動を通じ、たくさんの事を学ぶことが出来ました。例会では、発表する機会も頂き、一生の思い出になりました。JCは卒業しますが、地元愛を抑える事が出来ません。今後も、自分なりに地域に貢献出来るを行ってまいります。

## 塚本 大



縁が有って飯塚青年会議所に入会し、縁が有って理事長までさせていただきました。入会当初はこんなことは想像していませんでしたが、いろいろな人の出会いがあり、先輩方からの声かけ、仲間からの激励のおかげで貴重な経験をさせていただくことができました。若いうちはそれに何の意味があるのか、何のためになるのかを考える前に飛び込んでみるもの良いんじゃないかと思えます。多くの仲間がで、今後の仕事への刺激もたくさんいただきました。みなさん、そして、先輩方ありがとうございました。

## 浅田 龍輔



私は3年も満たない期間でした。断り続けて、入る時にはなんでこんな会?団体?例会の始まりは不気味だし嫌だなと、思っていました。今となっては、もっと早く入会すればよかったと後悔です。私の仕事は、会議という会議などなく大変勉強になりました。こんなに教えてくれるのかと(きつかったけどね 笑) 2016年会員員拡大アカデミー委員会 深田副理事長 ありがとうございました。 神田委員長 ありがとうございました。 アカデミーのみんな ありがとうございました。入ったからには、全力でやり遂げてください。 みんな さようなら(\*^^\*)



卒業おめでとう。。。



# 進化

～意識の変革こそが地域を変える～

一般社団法人飯塚青年会議所 第64代理事長 藤原 昌直

## はじめに

一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)がこの地において産声をあげて本年で64年目を迎えます。これまでの63年間、諸先輩方が積み重ねてこられた努力と歴史の上に今日の我々が「明るい豊かな社会」の実現に向け日々の活動を行うことができていることにまずは深く感謝します。

この長い時間の中で社会の状況は著しく変化し、あらゆる部分において大きく成長を遂げてきました。これは、先人たちがその時代に満足することなく、さらなる進化を求めて行動してきた結果であり、このことは青年会議所(以下、JC)の運動にも同じことがいえます。常に現状に満足することなく、より明るい豊かな社会を築くことを信念とする我々の活動は、「時代」に「社会」に求められることを探求しながら市民意識の変革から地域を変えることをめざすことであり、JC運動の進化は我々に求められる大きな使命であります。そのためには我々自身も進化し続け10年後・20年後の素晴らしい未来を創っていくために使命感と責任感を持って行動していくことで、さらに存在意義のある団体となると確信します。高い志と熱い情熱を持って全力で取り組み、本年の歩みを進めてまいります。

## 会員の意識の変革と覚悟からめざす進化

JCは様々な気づきの場を系統的に与えてくれる組織であります。これは我々と同じようにまちづくりを行う他のどのような団体にも劣ることのない特色です。JCがこの先も必要とされるためには、市民意識の先頭に立ち、「まちと人、人とひと、そして過去から現在、現在から未来を繋げる。」という役割をこれまで以上に果たし、地域を牽引し続けなくてはなりません。そのためには、個々がそれぞれの役割を改めて認識し、人任せや妥協をせず唯々ひたむきに真剣に地域のために何をやるべきか議論を重ね、地域と共に行動を起こすことに他ならないと確信します。

JCには様々な活動をとおして、ご縁をいただいた方々や信頼できる仲間との支え合いの中で多くの経験や成長をする機会があります。そのような機会を現在どれだけメンバーが生かす努力をしているでしょうか。チャンスを活かすか否かは自分次第であるからこそ、この有難い出会いに感謝して本気で向き合い行動に移すことでJAYCEEとしての成長のチャンスをじゅうぶんに活かしてもらいたいです。また、時として一人では越えられない壁が現れたとしても飯塚JCには100人以上の仲間がいるのですから共に立ち向かえば必ず突破できるはず。そのためには今一度LOM全体が一丸となり一人ひとりが「仲間のために」という意識を持ち結束して行動していかなければなりません。そうすることにより期待どおりの結果を生むことができ、大きな成長へと繋がります。このように自らの意識を変革していくことで結果として、JAYCEEとして、また一人の青年経済人として進化できます。その結果としてさらに力強いJC運動が展開されると確信します。

以前よりも社会的な課題も複雑になってきている現代では、それらに取り組み我々の活動も社会により求められるものでなくてはなりません。しかしその中で、JCの運動には無限の可能性もあるにも関わらず、事業を展開していく上で、やるべきものよりもやれるものを選んではいませんか。さらに、入会5年未満のメンバーが60パーセントを超える現在では、過去の歴史もこれまでの飯塚JCがこのまちに残してきた足跡も知らないメンバーが増えてきているのも実情です。来年度、飯塚JCは創立65周年を迎えるにあたり、今一度JCの可能性を信じて行動された過去の運動を継ぎ学ぶことにより、やるべきことに一心に取り組んでこられた先輩方の精神を引き継ぎ、そして昇華させることで、失敗を恐れず真にやるべきことに挑戦できると確信します。

このような覚悟を持った活動意識の向上をめざすことでJCの限界のない可能性を信じ、様々な気づきの場面で率先して行動することができる「個」としてのJAYCEEへと進化することができます。そして個の集団である「組織」としてのJCへと進化させていくことができると確信します。

## 地域と人の意識の変革からめざす進化

地域を活性化させていく要素として、そこに根付いている魅力や特色といった潜在的な「力」と、それらに密接に関わる「人」が大きく関わっています。しかし、多くの方が地域活性という意識を持つことなく、この力と無意識に関わっているのではないかと感じます。そこで本年度はこの部分に注目し、そこに関わる方々に改めてその力についての価値観を見出だしていただくことで、じゅうぶんに地域活性の原動力となりえると考え、自らの意識の変革により地域の活性化は始まると感じていただけるような、事業を展開します。

さらに、このまちにはイベントや祭りといった行事も数多く開催されています。地域に愛され、そしてそれに関わる多くの方に活力を生み出して

いるこの力にもやはり注目しなければなりません。世代を超えて受け継がれているこのようなイベントの振興は地域内の活性だけに留まらず広く発信していくことで交流人口の増加や経済的效果など、効果的な活性化が期待できると考え、魅力あるイベントのさらなる活性化事業も行います。

また、次代の担い手である青少年が、社会の一員としての役割を積極的に担うよう成長することは、地域の活性化や持続的な発展のために必要不可欠であります。そこで、お互いの人格や個性を尊重し支え合いながら未来を切り拓いていけるように成長を促し、自分たちが近い将来この地域を担っていくという意識を育てていけるような人財育成を行います。さらに、この活動をより効果的なものにするために、交流に主眼を置きながら進め、次代の担い手とこの地域の未来について語り、共に描きながら創っていくひとつの事業を展開します。

このような運動を展開していくことで一人でも多くの「young active citizens」を育てることができ、「明るい豊かな社会」の実現に向け地域が進化していくと確信します。

## 地域と協働で行う意識の変革と広報からめざす進化

これまでも我々は2市1町と密接に連携を図り様々な運動を展開して参りました。そして本年度はさらにもう一步この連携を前に進めていけるよう、2市1町の行政と協働での活動および運動を展開します。全体一つの取り組みに関わることにより地域活性の統一意識の醸成をめざします。さらに様々な角度での連携を推進していくことで近年、幾度となく開催しております他団体との協働での事業を本年も引き続きめざします。このような連携により事業構築の可能性が広がっていくと同時に、地域に引継いでいけるような事業も推進することができます。また、共に活動を行うことで我々の理解者を増やすことができればJC運動の発信や活動の幅が広がります。このような地域全体を大きく巻き込む活動をとおして地域と共に行うまちづくり推進事業を展開します。

我々の運動を地域に波及させていく最も大きな役割を果たしているのは事業の開催です。どのような目的を持ちどのような想いで各事業を展開しているのかを、広報を通じて発信していくことも、それ自体が意識変革を目的とした重要なJC運動です。だからこそ効果的な広報というのは効果的な事業と直結しているといっても過言ではありません。近年我々もマニュアルを作成し、HPやSNSを活用した広報にも着手し成果は上がっているように思えますが、まだまだ我々の運動が広く浸透できていないと感じることもあります。そこで本年はJC運動の一端である広報にもこれからの可能性を求め、より効果的な方法を検討します。それにより事業開催を活気付け、さらに地域に我々の意識を浸透させることができると確信します。

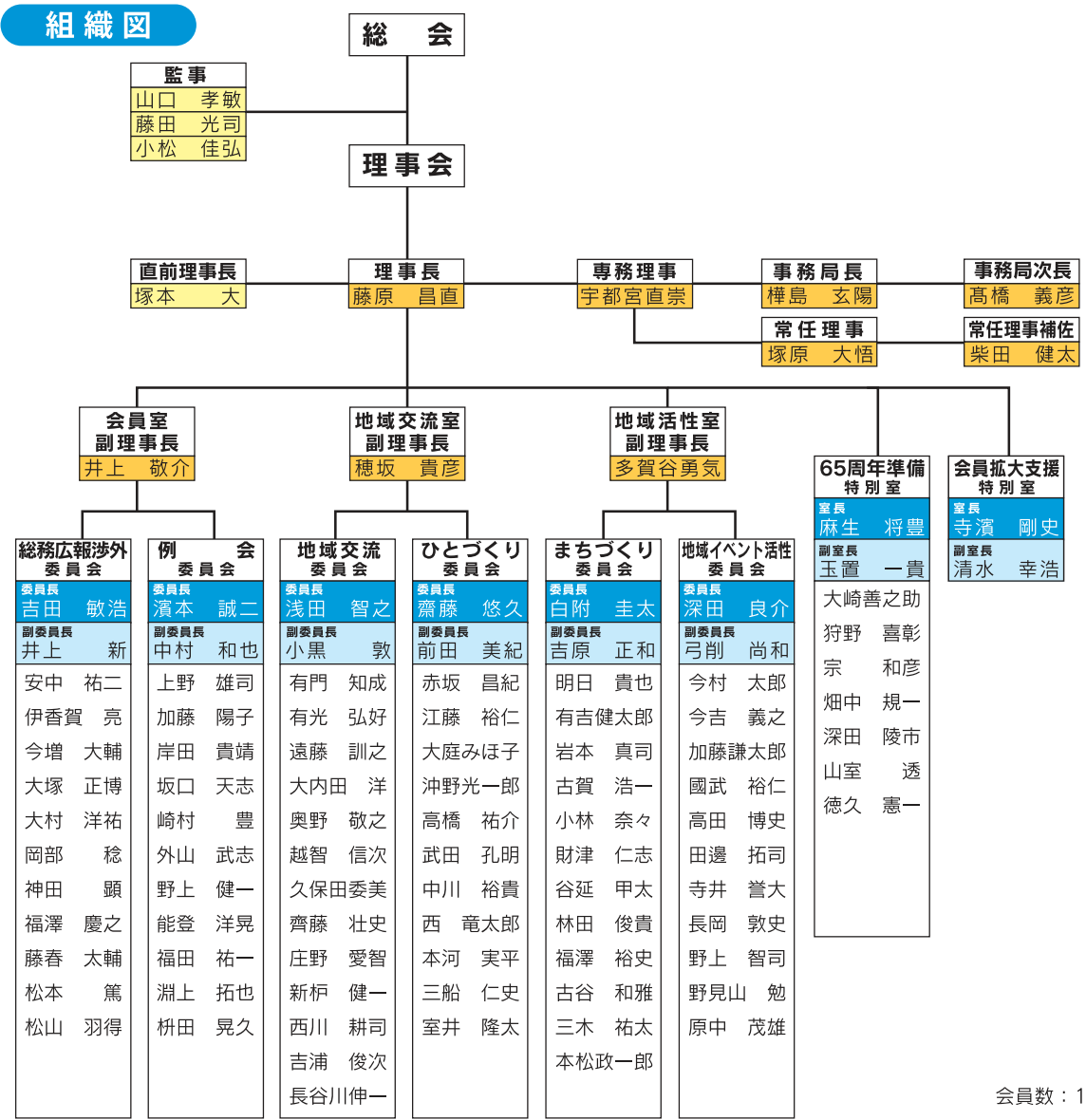
## おわりに

いつの時代にもまちを変えてきたのは我々と同じ青年です。愛する地域のために、愛する人々のために、そして10年後20年後の未来のために、今の我々が果たすべき役割は一人ひとりが何のために、誰のために行動するのかを常に考えることはもちろんのこと、自分に与えられた役割をじゅうぶんに理解した上で、覚悟を持って行動していくことであります。我々飯塚JCが本気で地域や、ここに暮らす方々のために自らの意識を変革し行動することにより、地域の方々の意識も変えていくことができるはず。そしてその結果として必ず地域を変えていけると確信いたします。変わっていく時代の中でも変わらない志を胸に抱き、信じ合える仲間と共に信じる道を突き進んで素晴らしい未来をイメージしながら、よりよい地域を自分たちの手で創り上げていく、すなわち進化させていくという強い信念をメンバー一人ひとりが心底に抱きつつ、本年度も誠心誠意運動を展開してまいります。

## 基本方針

- ・仲間と共に行うメンバー一人ひとりの人財育成
- ・未来に繋ぐ会員拡大
- ・飯塚JCの歴史を継承し次世代に繋げていく活動
- ・メンバー間の交流を重視した、参加意識の高まる例会運営
- ・効果的な広報への取り組み
- ・意識の変革からめざす地域活性化事業
- ・地域の魅力あるイベントのさらなる活性化事業
- ・飯塚JC全体で取り組む山笠運営
- ・次代の担い手と共に創る未来事業
- ・行政や他団体との協働活動によるまちづくり推進事業

## 組織図



会員数：104名

理事長  
**藤原 昌直**  
(有)嘉穂園芸  
H16年入会

直前理事長  
**塚本 大**  
(株)中央産業  
H21年入会

副理事長  
**井上 敬介**  
(有)マイルド薬局  
H26年入会

副理事長  
**穂坂 貴彦**  
農事組合法人 穂坂牧場  
H23年入会

副理事長  
**多賀谷 勇気**  
(株)イオス  
H21年入会

専務理事  
**宇都宮 直崇**  
裏祖八幡宮  
H24年入会

常任理事  
**塚原 大悟**  
(有)めがねのツカハラ  
H23年入会

常任理事補佐  
**柴田 健太**  
(有)ユーエスオート  
H26年入会

事務局長  
**樺島 玄陽**  
龍王ガス(株)  
H23年入会

事務局次長  
**高橋 義彦**  
(学)嶋田学園 飯塚高等学校  
H27年入会

監事  
**山口 孝敏**  
写真の和光  
H23年入会

監事  
**藤田 光司**  
電王運輸(有)  
H25年入会

監事  
**小松 佳弘**  
(株)パーソナル・グラス・アイクッス  
H23年入会

# 総務広報渉外委員会



委員長  
**吉田敏浩**  
筑豊印刷(株)  
H26年入会



副委員長  
**井上新**  
ドライアイス筑豊(有)  
H27年入会



**安中祐二**  
(株)アイビーメディカル  
H27年入会



**伊香賀亮**  
オフィスイコウガ  
H25年入会



**今増大輔**  
(有)東進  
H26年入会



**大塚正博**  
(株)三信ビル管理  
H20年入会



**大村洋祐**  
(有)日本パボルナ  
H26年入会



**岡部稔**  
株初音  
H19年入会



**神田 顕**  
(株)南風堂  
H21年入会



**福澤慶之**  
上嘉穂貨物自動車運送(株)  
H19年入会



**藤春太輔**  
光和建设(株)  
H28年入会



**松本 篤**  
松本電気管理事務所  
H28年入会



**松山羽得**  
(有)庄内衛生舎  
H28年入会

# 例会委員会



委員長  
**濱本誠二**  
福豊帝酸(株)  
H23年入会



副委員長  
**中村和也**  
福岡クリエーション開発(有)  
H20年入会



**上野雄司**  
舞鶴設備工業(株)  
H26年入会



**加藤陽子**  
(株)福岡カホスインクス  
H21年入会



**岸田貴靖**  
三協技建(株)  
H16年入会



**坂口天志**  
(株)飯塚電設  
H21年入会



**崎村 豊**  
崎村組  
H24年入会



**外山武志**  
(株)KMG  
H21年入会



**野上健一**  
DEEP  
H21年入会



**能登洋晃**  
(有)かいた環境開発工業  
H28年入会



**福田裕一**  
(株)福田電気商会  
H23年入会



**淵上拓也**  
パームハウス  
H21年入会



**枘田晃久**  
アジア総合法律事務所  
H26年入会

たくさんの方に興味・関心を持ってもらえるよう、行政や他団体などを含め色々な方に運動内容や想いを発信します。そして地域の方たちと関わりを持つことで飯塚JCの運動に目を向ける人を増やし、共感しファンになってもらいます。

地域との良好な関係作りが確立され、JC運動の一端である広報が進化し、多くの方がJC運動に目を向け、参加し想いを共感することにより、一人でも多くの人たちの意識変革を起こすことで「明るい豊かな社会」の実現ができると確信しております。

当委員会より率先してメンバーと絆を育んでまいります。また、意識の変革、新たな発見、横の繋がりに重点を置いたアワーの企画・運営を行うことで、個人・全体の成長を促します。式典においては飯塚JC全体の意識の統一に繋げていきます。多くのメンバーが月一度の例会に集い、飯塚JC全体での意識の変革が起こり、これまで以上の進化へと繋がっていくと確信します。また、忘年会につきましては、総務広報渉外委員会と協力し、卒業生の想いを継承すると共に今後の活動への情熱と気概に繋がる企画・運営をめざします。

# 地域交流委員会



委員長  
**浅田 智之**  
ダイワ印刷(株)  
H24年入会



副委員長  
**小黒 敦**  
小黒食堂  
H28年入会



**有門 知成**  
酒菜屋 有門亭  
H28年入会



**有光 弘好**  
皇祖神社  
H21年入会



**遠藤 訓之**  
親和電設工業(株)  
H26年入会



**大内田 洋**  
(株)ライムワークス  
H28年入会



**奥野 敬之**  
(株)カイト  
H23年入会



**越智 信次**  
(株)サンヨー建設工業  
H27年入会



**久保田 委美**  
(株)麻生 飯塚病院  
H26年入会



**齊藤 壮史**  
(株)壮・縁士環境  
H22年入会



**庄野 愛智**  
(株)一輝  
H27年入会



**新栞 健一**  
メットライフアリコ生命保険(株)  
H25年入会



**西川 耕司**  
西川歯科医院  
H23年入会



**吉浦 俊次**  
(株)ヨシウラ  
H28年入会



**長谷川 伸一**  
(株)ワーキングハセガワ  
H24年入会

地域交流委員会は行政・他団体と協力し、“協働”で事業を進めてまいります。更に事業を進めていく中で、その関係性を深め、この地域にとってもっとより良い団体に進化していくと確信します。またそのノウハウを他地域へと発信できればと考えます。この地域の明るい豊かな社会の実現の為に日々、邁進してまいります。

# ひとづくり委員会



委員長  
**齋藤 悠久**  
(株)グリーンロード  
H26年入会



副委員長  
**前田 美紀**  
(株)ニッツー  
H27年入会



**赤坂 昌紀**  
(株)緑親園  
H20年入会



**江藤 裕仁**  
(株)トーン  
H21年入会



**大庭 みほ子**  
(株)コスモスハウス  
H28年入会



**沖野 光一郎**  
NEXT INNOVATION  
H26年入会



**高橋 祐介**  
飯塚信用金庫  
H27年入会



**武田 孔明**  
飯塚信用金庫  
H27年入会



**中川 裕貴**  
飯塚中川証券(株)  
H26年入会



**西 竜太郎**  
(株)西組  
H17年入会



**本河 実平**  
本河住建  
H26年入会



**三船 仁史**  
(有)末廣  
H26年入会



**室井 隆太**  
ミンクルビスト(株)  
H27年入会

子どもたちが地域や人に意識を向け自ら率先して行動することで、自分たちが住む地域を愛し、人のために何かをやるんだという意識が育まれることにより、『責任感』を持った社会人へと変わっていくのです。また、子どもたちが、やがて大人になった時に、地域で学んだことや経験したことは必ず心に残り、連鎖的に、この地域に還元されると私は確信致します。次代の担い手である子どもたちと共に育んで行けるように、我々、委員会メンバーは子ども目線に立ち、笑顔を絶やさず一丸となり、一年間邁進していきます。

# まちづくり委員会



委員長  
**白附 圭太**  
AUTO-GARAGE・KEITA'S  
H26年入会



副委員長  
**吉原 正和**  
(株)アイックス福岡  
H27年入会



**明日 貴也**  
GLEAN-LIFE(株)  
H26年入会



**有吉 健太郎**  
(株)筑豊調味  
H25年入会



**岩本 真司**  
(有)サキオ  
H26年入会



**古賀 浩一**  
(有)セントコーポレーション  
H22年入会



**小林 奈々**  
ピップエコー  
H27年入会



**財津 仁志**  
(合)内橋商店 山田饅頭本舗  
H26年入会



**谷延 甲太**  
居酒屋 すけはち  
H27年入会



**林田 俊貴**  
林田俊貴税理士事務所  
H27年入会



**福澤 裕史**  
Rudies Cafe  
H27年入会



**古谷 和雅**  
(株)古谷金物店  
H23年入会



**三木 祐太**  
(株)三木  
H21年入会



**本松 政一郎**  
社会福祉法人 嘉穂福祉会 三愛園  
H25年入会

私達が生活するこの地域には充実した公共施設や新鮮な食材等魅力あるものがたくさんありますが暮らしているこの地だからこそ誇りとなるその魅力の価値に気付かずに日々を送っているのではないのでしょうか。その魅力を様々な手法で多くの人に知ってもらい既存の価値観や魅力あるものがさらによいものへと変わりそこから色々なものを発信していくことで地域の活性化へと繋がっていくまちづくり事業を行います。

# 地域イベント活性委員会



委員長  
**深田 良介**  
(株)深田環境開発工業  
H26年入会



副委員長  
**弓削 尚和**  
ユゲデンキ(株)  
H26年入会



**今村 太郎**  
(株)福岡中央銀行  
H26年入会



**今吉 義之**  
(株)パーソナルネット  
H21年入会



**加藤 謙太郎**  
ロケット石鹸(株)  
H26年入会



**國武 裕仁**  
(有)システムハウジングタイセイ  
H15年入会



**高田 博史**  
(有)高田工業所  
H25年入会



**田邊 拓司**  
(有)サンクスライフ  
H25年入会



**寺井 誉大**  
(株)ソーウィル  
H28年入会



**長岡 敦史**  
(株)ジェイ・イー  
H18年入会



**野上 智司**  
(株)のがみ組  
H21年入会



**野見山 勉**  
(株)グリュックス  
H25年入会



**原中 茂雄**  
KRC桂川  
H23年入会

この地域には、まちやひとに活力を与えるイベントがあり、地域に愛されています。しかし、この地域の魅力を地域外に広く発信できていないのではないのでしょうか。そこで、既存イベントの魅力と飯塚JCの地域活性ノウハウを融合させた事業を企画・運営します。そうすることで、魅力を再認識し、イベントを進化させ、それを幅広く発信することで、交流人口の増加や経済的効果などの活性化に繋がると確信し一年間邁進してまいります。

# 65周年準備特別室

明るく、楽しく、夢を持つ



室長  
**麻生 将豊**

麻生商事(株)  
H23年入会



副室長  
**玉置 一貴**

(株)玉置  
H23年入会



**大崎善之助**

ひまわり不動産サービスセンター  
H25年入会



**狩野喜彰**

(有)かの住建  
H21年入会



**宗 和彦**

やしま整骨院  
H23年入会



**徳久憲一**

福岡銀行  
H28年入会



**畑中規一**

(有)荒木食品産業  
H15年入会



**深田陵市**

(有)南星観光  
H18年入会



**山室 透**

親和塗料  
H16年入会

当室では、アカデミーメンバーの育成、台東国際青年商会との交流及び65周年に向けた提言を行います。

アカデミーメンバーの育成は、例会や総会の重要性を理解して貰う事と共に、室の運営を通じて青年会議所を理解してもらいます。また、成長したメンバーと事業を作ることで、今後の飯塚青年会議所を担える人財への進化を目指します。

65周年への提言では、63年間の歴史を振り返り、JCだからこそ出来る、JCに入ったからこそ体感できる活動を先人たちの事業から受け継ぎ、65周年へ向けた準備を円滑に行っていきます。

最後に、台東国際青年商会との交流では、先輩方が築いた関係を継続し、今以上に友情を深められるよう企画してまいります。

# 会員拡大支援特別室

交流を深めます！



室長  
**寺濱 剛史**

(株)エス・シー・エム  
H21年入会



副室長  
**清水 幸浩**

(株)瑞建工務店  
H18年入会

私たち(一社)飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)は、104名の会員数で2017年度をスタートします。県内で100名を超える会員で構成されているLOMは多くありません。これも諸先輩方や会員の方々のご協力や情報提供にて会員数をのばしていますが、ここ数年で30名を超える会員が卒業することになり、飯塚JCにとって大きな損失であると私は感じます。

まずは、飯塚JCを継続し発展させていくために、県内をはじめ日本各地で行われている拡大の方法や情報の収集を行うことで、飯塚JCに新たな会員拡大の方法として取り入れていきます。そして、一人でも多くの会員が集って議論していくために、今まで以上に諸先輩方や外部の方々からの情報にもアンテナを張り、情報を収集し迅速且つ確実に行動を起こし一人でも多くの会員増員を行います。また、私たち飯塚JCという一つの団体のみではこの地域の活性化は困難な部分もあるため、2市1町を活性化させるという同じ志を持った団体や行政に意識の変革を行うことで、外部からの協力ではなく私たち会員と共に活性化に努められるようにしていきます。

私たちが住みゆくこの地域の未来と発展を考え、使命感溢れるJAYCEEが高い志と熱い情熱を持ち、一人でも多くの青年経済人が私たちのLOMに集い、切磋琢磨していくなかで一人ひとりの意識の変革を行い、地域の進化へと繋げるべく活動していきます。

# 63年間の軌跡



▲昭和28年 35名の有志により設立



▲昭和46年 飯塚山笠復活



▲昭和58年 30周年 ふるさとフェア'83



▲昭和58年 台東JC 姉妹締結調印式



▲平成5年 40周年 ちか歩き大会初開催



▲平成15年 水害復興を願い「元氣まつり」開催



▲平成15年 水害復興の願いをこめて灯明を初開催



▲平成15年 筑前茜染で染色した日の丸を小泉首相へ贈呈



▲平成20年 223.8mのロールケーキ作り「お菓子のまち飯塚」をPR



▲平成20年 JAふくおか嘉穂にて日本一のおにぎりアート製作



▲平成25年 60周年「お菓子まつり」にて鉛のスタンドグラス製作



H21「ドミノで作ろう友達の和」  
子ども達が感動を分かち合うことで  
困難を乗り越える力を養った



H22「飯づ嘉もんバーガー」販売  
生産者を交えたモデルケース作り事業



H22「お菓子事業」  
お菓子のまち飯塚ボタシュー作成風景



H23いのちの事業  
家族との絆を深めるためお産劇を交えた  
『いのちの事業』開催



H24「飯job事業」  
飯塚市の商店街にて子どもたちの職業体験

**私たちはこんな活動を行ってきました!**  
**来年は65周年!!**



H24「こども料理コンテスト」  
子どもたちが考えたアイデア料理を作って  
実際に販売しました



H25「地域の宝事業」  
黒田官兵衛ゆかりの地であることをPRした



H25 お菓子まつり  
47都道府県お菓子だよ全員集合



H26「まちクエ」  
地域をより良く知るために2市1町の名所巡り



H26「会員交流事業」  
会員交流の一環でみんな一致団結して  
地引網体験



H27「教育委員会事業」  
ネパール地震により被災し地域へハンド  
スタンプで想いを届けた



H27「食育委員会事業Food to Food Project」  
発表会を開催し食の大切さを小学生に  
学んでもらった



H27「環境事業」  
遊びを通じて環境問題に対する取り組みを  
広めた



H28熊本地震災害支援募金活動  
行政、他地域の青年会議所と協力して  
災害への支援活動を行った

# 会員募集中

飯塚 JG ホームページは  
こちら!



飯塚 JC フェイスブックは  
こちら!



一般社団法人 飯塚青年会議所 青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。

青年会議所(JC)は“明るく豊かな社会”の実現を理想とし、時代の担い手たる責任を持った20歳から40歳までの、指導者たらんとする青年の団体です。

私たちは現在、国内697余りの都市に約36,500人の会員を擁し、全世界130カ国の国及び地域に活動拠点があります。

青年会議所の事業目的は“社会と人間の開発”です。

私たちは市民社会の一員として、市民の共感を求めて社会開発計画に基づいた活動を行い、「自由」を基調とした民主的な指導能力の開発を推し進めています。

**(一社) 飯塚青年会議所は、あなたの力を求めています!**

対象者: 飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務地を有する20歳から37歳までの健全な方であれば男女は問いません。

詳しくは下記(一社)飯塚青年会議所事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒820-0017 福岡県飯塚市菰田西3丁目18-11 TEL0948-23-0292 FAX0948-24-3471

E-mail: info@iizuka-jc.com URL http://www.iizuka-jc.com/

2016年度会員拡大アカデミー委員会製作